

東北北部エリアにおける電源接続案件募集 プロセスの完了へ向けた対応について

2021年2月25日

東北電力ネットワーク株式会社

- 東北北部エリアにおける電源接続案件募集プロセス（以下，募集プロセス）に関連し，下記について報告する。
 1. 募集プロセスの状況について
 2. 募集プロセスの完了後に備えた取組みについて
 3. アクセス線の施工について

1. 募集プロセスの状況について

P3

- 募集プロセスについて、2020年1月22日に部分完了した以降、優先系統連系希望者から辞退者が出たことにより生じた空容量分に対して、非優先系統連系希望者からの繰上げ選定を実施。

第25回系統WG(2020.3.10開催)資料3抜粋

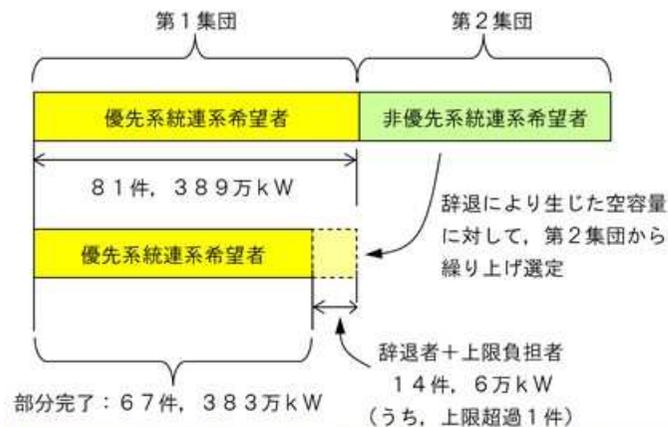
1. 募集プロセスの現状と今後の予定について

P3

- 10月末に再接続検討結果を回答し、優先系統連系希望者（第1集団）81件、389万kWからの共同負担意思確認の結果、13件の辞退と1件の負担可能上限額※超過者が発生し、残った事業者67件、約383万kWにて入札負担金総額が入札対象工事費を上回ったことから、募集プロセスが部分完了。

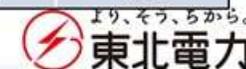
※共同負担意思確認時に共同負担意思があることを表明する事業者は、他の事業者が辞退した場合の工事費負担金の増加に備えて、事業性から合理的に許容される工事費負担金の上限額をあらかじめ申告するルール。

- 現在、辞退により生じた空容量に対して、非優先系統連系希望者（第2集団）からの繰上げ選定を実施中であり、3月下旬に事業者へ通知する予定。



優先系統連系希望者 67件、連系容量 383万kW

電源種別	件数[件]	連系容量[万kW]
太陽光	2	2
陸上風力	24	115
洋上風力	16	260
その他再エネ (バイオマス等)	25	6
合計	67	383



より、そう、ちから。

から。
電力ネットワーク

1. 募集プロセスの状況について

- その後、検討期間短縮に最大限取組んだ中で、繰上げ選定した事業者に対して再接続検討を回答し、辞退が発生した都度繰上げ選定および再接続検討を実施。
- 4回目の繰り上げ選定において、さらなる追加の繰り上げが発生しないことを確認したことから、現在、繰り上げ選定された事業者との契約手続き等を進めている。これにより、2016年10月8日から開始された募集プロセスは2021年3月上旬頃完了となる見込み。

募集プロセスの状況：優先系統連系希望者 76件、容量 390万kW

電源種別	件数 [件]	容量 [万kW]
太陽光	2	2
陸上風力	33	122
洋上風力	16	260
その他再エネ (バイオマス等)	25	6
合計	76	390

2. 募集プロセスの完了後に備えた取組みについて

- 募集プロセスについては、先行事業者の契約申込取下げに伴う入札対象工事の見直しや、応募事業者からの辞退等に伴う繰上げ選定などもあり、プロセス完了までのスケジュールが長期化。
- 一方、募集プロセス期間中においても、募集プロセスエリアへ接続検討申込を頂いていた状況。（以下、検討保留案件）
(2021年1月末時点の検討保留案件：145件，約950万kW)
- この度、募集プロセスの完了が見込まれたことから、募集プロセスにて安定度限界まで連系した状況を踏まえ、同エリアへのノンファーム型接続での技術検討について受付を開始し、これら検討保留案件に関しても、ノンファーム型接続を前提とした技術検討となる旨の確認を進めている。

2. 募集プロセスの完了後に備えた取組みについて

- 技術検討開始にあたり、受付から期間が経過しており事業環境の変化も想定され、ノンファーム型接続適用など系統状況の変化もあることから、募集プロセス完了に先がけて、検討保留案件に対して下記の確認を進めているところ。
- 募集プロセス完了までには申込者の継続意思を確認し、申込内容の精査が出来たものから速やかに順次技術検討を行い、所定の技術検討期間内での回答に努めて参ります。

検討保留案件への確認内容

- ✓ 申込みの継続意思（継続意思がなく辞退する場合、技術検討は未着手であることから検討料は返金）
 - ✓ ノンファーム接続を前提とした技術検討となること
 - ✓ 申込み内容の確認
 - ・ 発電設備等、設備諸元の提出資料の変更の有無（変更があれば、諸元の再提出を依頼）
 - ・ アクセス線の施工主体の変更の有無
 - ・ 先行案件と地点重複が認められる案件は、地点重複の可能性についてお知らせ※
- ※洋上風力案件の重複については、国とも連携し対応して参ります。

弊社の現状

- アクセス検討件数が多く、多くのアクセス線の実工事対応も並行して対応している状況（北部エリアでの検討保留案件も多数）
- 基幹系統他工事が長期にわたり輻輳

課 題

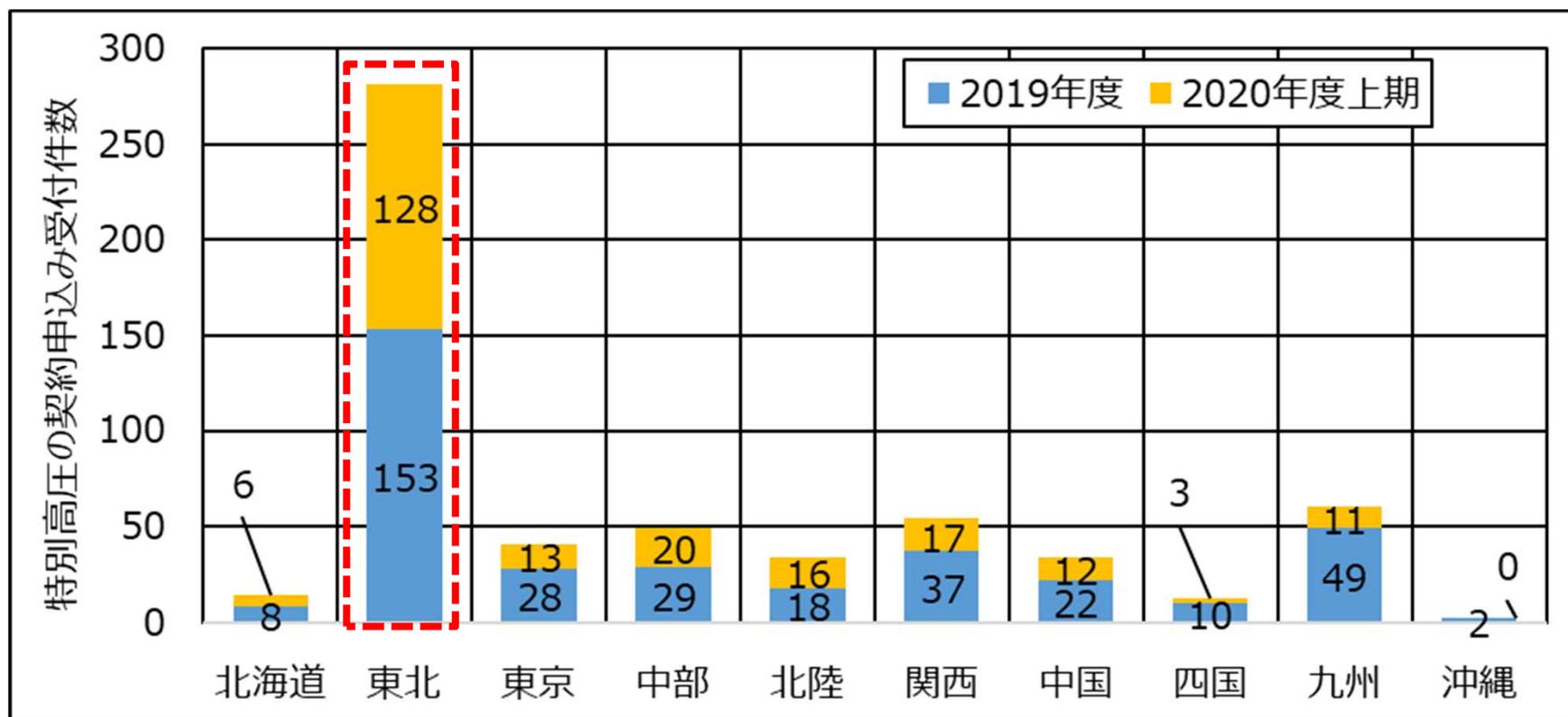
- 送電線工事が輻輳している中で、アクセス線建設に係る設計・調査にかかる弊社の人的リソース不足により、発電事業者さまの早期連系ニーズへの対応困難化を懸念

3. アクセス線の施工について

他社との契約申込み受付件数の比較

- 電力広域運営推進機関のデータから、他の一送と比較し、弊社管内の特別高圧の契約申込み受付件数が突出しており、多くのアクセス線の実工事対応も並行して対応している状況。

電力広域的運営推進機関公表データ（2019年4月～2020年9月）



3. アクセス線の施工について

今後計画されている主な基幹系統他工事

- ▶ 弊社管内では、2031年までの期間に大規模な基幹系統工事が計画されており、予定済みの工事と並行してこれら基幹系統整備工事等を進めていく必要がある。

	2019	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
東北東京間連系線			こう長 約160km 鉄塔 約370基										
東北北部募集 プロセス			こう長 約420km 鉄塔 約740基										
新々北本連系線 (今別幹線増強)			こう長 約50km 鉄塔 約160基										

(予定済み)
鉄塔建設基数
年間 約250基

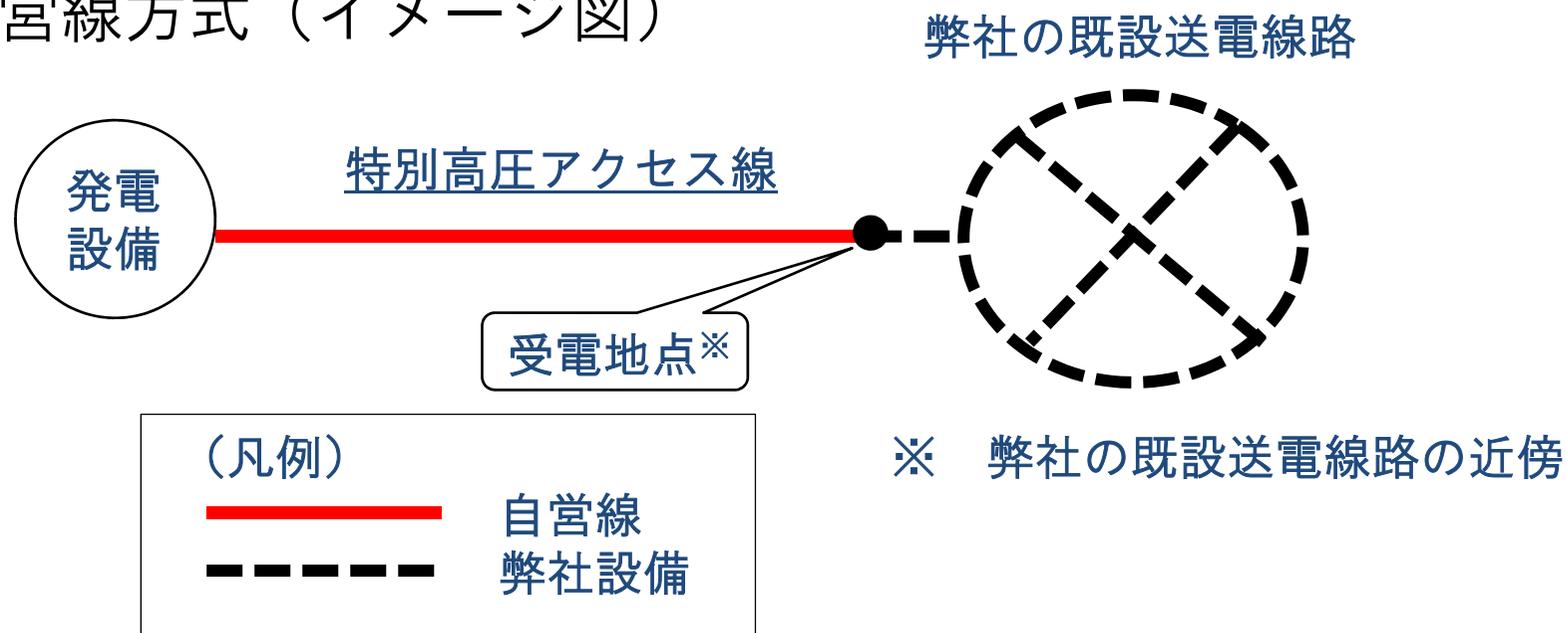


(基幹系統他の工事着工以降)
鉄塔建設基数
年間 約150基程度 増加

今後のアクセス線の施工について

- ▶ 送電工事が輻輳している中、多くの発電事業者さまから早期連系のご要望をいただいている。
- ▶ このようなご要望にお応えするため、154kVおよび66kV以下系統へ連系する特別高圧アクセス線について、調査から送電線工事まで一括して事業者さまに実施頂く「自営線方式」による工期の短縮化の対応を協議させていただきたい（弊社HP上でお知らせ予定）。

自営線方式（イメージ図）



自営線方式の採用について

- ▶ 弊社託送供給約款において、「その他特別な事情がある場合」は、発電事業者さまと当社との協議により、発電場所以外の地点を受電地点とすることがあると定めている。
- ▶ 課題となっている送電線工事の輻輳に伴う人的リソース不足による工事長期化は「その他特別の事情がある場合」に該当すると考えられるため発電事業者さまと当社との協議により「自営線方式」を採用したい。

(参考) 東北電力NW 託送供給等約款 (抄)

56 受電地点、供給地点および施設

(1) 受電地点

イ 電気を受電地点は、当社の供給設備と発電者の電気設備との接続点といたします。ただし、発電者の電気設備が当社の供給設備と電氣的に接続しない場合の受電地点は、会社間連系点といたします。

ロ 受電は、会社間連系点を受電地点とする場合を除き、発電場所内の地点とし、当社の供給設備から最短距離にある場所を基準として発電契約者と当社との協議によって定めます。ただし、次の場合には、発電契約者と当社との協議により、発電場所以外の地点を受電地点とすることがあります。

(イ) 山間地、離島にある発電場所等、当社の電線路から遠隔地にあって将来においても周辺地域に他の発電設備の設置が見込まれない発電場所から電気を受電する場合

(ロ) 当社の立入りが困難な発電場所から電気を受電する場合

(ハ) 1 建物内の 2 以上の発電場所から電気を受電する場合で各発電場所までの電気設備が当社の管理の及ばない場所を通過することとなるとき。

(ニ) 58 (地中引込線) (4)により地中引込線によって電気を受電する場合

(ホ) その他特別の事情がある場合